

機関や保護者との連携	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	・今年度、初の卒業生を排出するので、対象児の資料を作成していく。また、移行先の事業所と連絡を取り合い、先方がどんな情報が必要なのかを調べておく。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	・今年度は実施されていないので、来年度に向けて情報を収集していき、研修先を増やしていく。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	・外出プログラム時(特に公園等)ではその場にいる児童と積極的に関わりを持っているので、今後は児童館や放課後児童クラブ等と合同企画が出来ないか、働きかけてみる。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	未回答 ¹	4	・3月から住之江区子ども部会に参加することになっている。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	・職員によって行えるレベルの差があるので、その差が少しでも埋まるよう、まずは職員の支援員としてのレベルアップを図っていく。そして保護者にも外部研修と一緒に受講し学びの場となるよう働きかけていく。 ・保護者に対し研修や講義といった形の「トレーニング」はしていないがアドバイスの意見を問い合わせ・相談があった際には送迎時や電話等でお伝えし
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・各職員の知識によって差が出るので、内部研修等を充実させ、全職員のレベルアップを図っていく。また、保護者からの相談には必ず真摯に対応することを心がけている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	4	・保護者会は設立されていないが、クリスマス会や食育イベント等親御さんが参加するイベント等で少しでも保護者同士が交われる時間を提供している。
非常時等の対応	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・活動に関しては随時ブログを利用して発信できている。また来年度からは広報委員を設立し、会報を配布できるように企画中である。
	34	個人情報に十分注意しているか	6			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		・保護者には口頭だけでなく、電話、お手紙、メール、ブログ、HPや連絡帳等いろいろな術で意見を交わしており、利用児には言葉やジェスチャーを始め、文字・絵などで意思の疎通を図っている。今後は更にもっといろいろな方法ややり方が無いかを検討していく。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか		2	4	・前例はクリスマス会のみになっているが、食育イベントや餅つき大会など、既存のイベントで地域住民を招待することができる催しはイベントの規模拡大が可能か考えていく。また小規模であっても地域の児童を招くことができるイベントができるか等も検討していく。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		・マニュアルは既にあるので、保護者にも知ってもらえるようブログで紹介するなど、いろいろな形でお知らせをしていく。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			利用児との訓練は毎月行っているため、これからは職員のみでも訓練する機会を持ち、災害時の避難に関する知識や技術の向上を図っていく。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2		・大阪市による管理者のための虐待防止に関する研修は毎年受けており、職員会議等でどのような対応が虐待になりかねない、等の伝達はできているので、今後は虐待防止に関する職員の意識やモラル等に関して事業所内で勉強会を行っていく。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		3	3	・強度行動障害や重度の他害のある利用児に関しては前例は無いが、今後に備え法人内で話し合っていく。また、車椅子利用児は今現在も居るので保護者に同意を得た上で、個別支援計画に車いすのベルトの使用についての記載を入れるようにする。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		・保護者からの詳細な指示に基づいて対応できているので、それらが変更無いかを適時確認していく。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・以前からファイルは作成しており、月1の会議の時に共有してきたが、今は日々の終礼時に共有し対策について話し合う時間を取るようになっている。